



2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン

上場取引所 東

コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大澤 弘毅

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ ディレクター (氏名) 河野 純平

TEL 03-6825-1250

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,900	4.9	424	2.3	427	3.7	281	5.1
2022年12月期第2四半期	2,764	0.5	434	17.2	443	16.7	296	12.7

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 285百万円 (6.7%) 2022年12月期第2四半期 305百万円 (14.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	29.11	
2022年12月期第2四半期	30.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第2四半期	6,067	5,267	86.8	545.26
2022年12月期	5,967	5,160	86.5	534.25

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 5,267百万円 2022年12月期 5,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		18.50	18.50
2023年12月期		0.00			
2023年12月期(予想)				18.50	18.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	4.1	670	18.9	670	19.8	434	26.1	44.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	10,242,000 株	2022年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	582,305 株	2022年12月期	582,305 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	9,659,695 株	2022年12月期2Q	9,659,695 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年8月15日(火)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の各種行動制限の緩和、訪日外国人観光客の受入の本格的な再開などにより、社会経済活動の正常化が進み、国内経済活動の回復基調が続いております。一方で、世界経済では米国・欧州での景気下振れリスク、国内では物価上昇継続や円安傾向への転換などの不安要素があり、依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況のもと、当社事業と関連性が高い証券市場においては、2022年12月の日銀による金利政策変更の発表等を受け日経平均株価が一時急落する局面もありましたが、2023年6月末には33,000円台まで上昇しております。また投資信託市場においては、公募投資信託の純資産額は増加傾向にあり、その本数も2023年3月から増加傾向に転じております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,900百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は424百万円（前年同期比2.3%減）となりました。また、経常利益は427百万円（前年同期比3.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は281百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

ネット証券会社に提供している個人投資家向けコンテンツ開発は堅調に推移するとともに、証券レポート作成システムの新規案件を獲得することにより売上が増加しました。連結子会社である株式会社キャピタル・アイとアイフィス・インベストメント・マネジメント株式会社の業績も順調に推移しております。

その結果、売上高は726百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は309百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・配送サービスの受注が好調に推移し、また、連結子会社である株式会社東京ロジプロの配送サービスについては、昨年からの取り組んできた構造改革の成果に加え、受注も好調に転じ売上で大きく業績に寄与しております。一方で、企業向け確定拠出年金関連ソリューションサービスについては、引合い/商談案件は堅調なもの開発案件のスケジューリング調整などが想定より時間を要しており、前年同期比では増収減益となっております。

その結果、売上高は1,085百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は160百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場の純資産総額は、株価上昇の影響により年初比で増加しておりますが、印刷部数の減少傾向は継続しており、WEB/動画制作、投資信託関連資料類の受発注管理ソリューションの拡大に注力しておりますが、印刷受注量の減少分を埋めるには至りませんでした。

その結果、売上高は642百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は114百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は、前年同期比でほぼ同水準でありましたが、システム開発会社からの業務委託形態での受注が大幅な増加となりました。

外注費や販売費及び一般管理費などのコスト削減の効果もあり、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は445百万円（前年同期比27.8%増）、営業利益は53百万円（前年同期比80.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ99百万円増加し、6,067百万円となりました。

流動資産合計は55百万円増加し、5,500百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が90百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が44百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は44百万円増加し、567百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産が80百万円増加した一方で、のれんが償却により17百万円、ソフトウェアが18百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、800百万円となりました。

流動負債は10百万円減少し、715百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が25百万円減少したことによるものであります。

固定負債は4百万円増加し、84百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ106百万円増加し、5,267百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益281百万円の計上による増加と、剰余金の配当178百万円による減少によるものであります。

<キャッシュ・フローの状況の分析>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ89百万円増加し、4,980百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、取得した資金は396百万円（前年同期は467百万円の取得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益427百万円、売上債権の減少額74百万円、減価償却費37百万円であります。また、支出の主な内訳は、法人税等の支払額151百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は127百万円（前年同期は6百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、差入保証金の差入による支出104百万円、無形固定資産の取得による支出17百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は178百万円（前年同期は144百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額178百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月10日公表の2023年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,907,218	4,997,684
受取手形、売掛金及び契約資産	492,068	447,724
その他	45,942	54,994
流動資産合計	5,445,228	5,500,403
固定資産		
有形固定資産	51,143	39,246
無形固定資産		
のれん	130,412	113,024
ソフトウェア	114,613	96,240
ソフトウェア仮勘定	—	11,420
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	246,496	222,154
投資その他の資産	224,739	305,617
固定資産合計	522,379	567,019
資産合計	5,967,608	6,067,422
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,839	187,773
未払法人税等	161,056	135,342
賞与引当金	19,358	17,791
その他	360,304	374,948
流動負債合計	726,559	715,855
固定負債		
退職給付に係る負債	25,617	25,660
その他	54,664	58,803
固定負債合計	80,282	84,464
負債合計	806,841	800,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	4,399,186	4,501,764
自己株式	△77,975	△77,975
株主資本合計	5,142,031	5,244,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△140	4
為替換算調整勘定	18,875	22,490
その他の包括利益累計額合計	18,735	22,494
純資産合計	5,160,766	5,267,102
負債純資産合計	5,967,608	6,067,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,764,421	2,900,571
売上原価	1,594,637	1,675,238
売上総利益	1,169,783	1,225,333
販売費及び一般管理費	734,950	800,647
営業利益	434,833	424,685
営業外収益		
受取利息	400	18
受取配当金	195	157
持分法による投資利益	1,026	656
為替差益	6,836	1,815
その他	476	177
営業外収益合計	8,935	2,824
営業外費用		
その他	41	33
営業外費用合計	41	33
経常利益	443,727	427,475
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	443,727	427,475
法人税、住民税及び事業税	148,408	126,851
法人税等調整額	△1,143	19,341
法人税等合計	147,264	146,193
四半期純利益	296,462	281,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	296,462	281,282

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	296,462	281,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154	144
持分法適用会社に対する持分相当額	8,936	3,614
その他の包括利益合計	9,090	3,758
四半期包括利益	305,553	285,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305,553	285,040

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	443,727	427,475
減価償却費	27,049	37,447
のれん償却額	17,388	17,388
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,072	△1,567
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	368	43
受取利息及び受取配当金	△596	△175
持分法による投資損益 (△は益)	△1,026	△656
売上債権の増減額 (△は増加)	118,090	74,210
棚卸資産の増減額 (△は増加)	20,850	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23,986	1,273
固定資産除却損	—	0
未払又は未収消費税等の増減額	6,294	△6,698
その他	△28,352	△1,020
小計	582,880	547,720
利息及び配当金の受取額	770	175
法人税等の支払額	△116,687	△151,586
法人税等の還付額	373	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	467,336	396,309
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,000	△5,291
無形固定資産の取得による支出	△25,481	△17,032
投資有価証券の償還による収入	20,155	19
定期預金の預入による支出	△600	△600
差入保証金の回収による収入	294	—
差入保証金の差入による支出	—	△104,834
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,633	△127,739
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△144,895	△178,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,895	△178,704
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	315,807	89,865
現金及び現金同等物の期首残高	4,324,555	4,890,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,640,362	4,980,667

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

当第2四半期連結会計期間において、本社を移転することに伴って利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。また、不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務に係る資産除去債務について、原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は17,390千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	フアード ディスク ロージャ ー事業	I Tソリ ューショ ン事業				
売上高								
ドキュメント	—	924,954	627,314	—	—	1,552,268	—	1,552,268
WEBサービス	650,679	—	—	—	—	650,679	—	650,679
受託開発	50,410	127,326	35,100	58,017	—	270,854	—	270,854
その他	—	—	—	290,619	—	290,619	—	290,619
外部顧客への売上高	701,089	1,052,280	662,414	348,637	—	2,764,421	—	2,764,421
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,500	2,968	—	44,334	—	48,802	△48,802	—
計	702,589	1,055,248	662,414	392,971	—	2,813,223	△48,802	2,764,421
セグメント利益	296,255	181,319	125,752	29,346	—	632,673	△197,839	434,833

(注) 1. セグメント利益の調整額△197,839千円には、セグメント間取引消去△670千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△197,169千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション事業	ファンド ディスク ロージャー 事業	I Tソリ ューショ ン事業				
売上高								
ドキュメント	—	1,025,598	633,054	—	—	1,658,653	—	1,658,653
WEBサービス	658,266	—	—	—	—	658,266	—	658,266
受託開発	67,783	60,310	9,919	81,290	—	219,303	—	219,303
その他	—	—	—	364,348	—	364,348	—	364,348
外部顧客への売上高	726,049	1,085,908	642,973	445,639	—	2,900,571	—	2,900,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,500	6,073	—	31,071	—	38,645	△38,645	—
計	727,549	1,091,982	642,973	476,710	—	2,939,216	△38,645	2,900,571
セグメント利益	309,713	160,414	114,392	53,049	—	637,569	△212,884	424,685

(注) 1. セグメント利益の調整額△212,884千円には、セグメント間取引消去△408千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△212,475千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。